

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2505 号

Improvement of Aspects of Subjective Sleep Quality of Healthy Volunteers by Ingestion of Porcine Placental Extract: A Randomized Cross-Over Pilot Study

健常人ボランティアにおけるブタ胎盤抽出エキス摂取による主観的な睡眠の質のいくつかの側面の改善。ランダム化クロスオーバー試験による予備研究

長瀬 眞彦 (ながせ まひこ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、現代社会において、うつ病など様々な健康問題の原因となっている睡眠不足に対し、睡眠薬の使用以外の方法の一つとして、ブタ胎盤抽出エキス (PPE) 摂取による睡眠改善効果の可能性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。睡眠に満足していないが睡眠薬を使用していない健常人ボランティアを対象にし、PPE 及びプラセボを用い、クロスオーバー試験で行なった。プラセボ試料を最初に摂取した群を Placebo first 群 (n=8)、PPE を最初に摂取した群を PPE first 群 (n=12) とした。PPE を 2 週間摂取することにより、主観的及び客観的な睡眠時間の延長効果は得られなかったが、セントマリー病院睡眠質問票において、質問 5 : 睡眠の深さ (プラセボ群変化量 -0.450 ± 2.21 、PPE 群変化量 1.15 ± 1.79 , $p < 0.05$) や質問 9 : 睡眠の質 (プラセボ群変化量 -0.150 ± 1.53 、PPE 群変化量 1.15 ± 1.53 , $p < 0.05$) で、主観的な睡眠の質の改善効果が認められ、この結果、PPE の摂取が睡眠薬を使用することなく睡眠の質改善効果を高める一つの方法であることが示唆された。本研究は小規模なものであり、将来的により大規模で評価項目を絞った臨床試験で確認することが望ましいが、PPE 投与により睡眠の主観的な質が改善する可能性を示唆する興味深い結果であると言える。これまで、ヒト胎盤抽出物注射剤に関しては様々な研究がなされてきたが、PPE による睡眠改善効果を臨床試験のデザインに基づいて研究したものは過去に無い。主観的な睡眠の質ではあるが、PPE による睡眠改善効果を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。